

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第17週 (平成18年4月24日～4月30日) 発行日：平成18年5月2日
発行：福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎279名(12.68名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎69名(3.14名) 水痘43名(1.95名) 咽頭結膜熱28名(1.27名) インフルエンザ28名(0.88名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(279名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(69名) 水痘(43名) 咽頭結膜熱(28名) インフルエンザ(28名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は279名です。定点当たり患者報告数は増加しました(11.09名 12.68名)。地域別にみると福井地区21.14名、丹南地区13.4名、坂井地区11.33名、二州地区10.0名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は69名です。定点当たり患者報告数は減少しました(4.32名 3.14名)。地域別にみると奥越地区7.0名、坂井地区3.67名、丹南地区3.4名、福井地区3.14名、二州地区1.67名の順となっています。
- 【水痘】報告数は43名です。定点当たりの報告数は増加しました(1.77名 1.95名)。地域別にみると丹南地区4.0名、福井地区2.29名、奥越地区2.0名、若狭地区1.0名、坂井地区0.33名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は28名です。定点当たりの患者報告数は減少しました(2.23名 1.27名)。地域別にみると二州地区2.33名、丹南地区2.0名、福井地区1.43名、坂井地区0.33名の順となっています。

感染症週報全国版の要点

2006年第15週号(4月10日～4月16日)要点

発生動向総覧	<第15週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向 <3月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 2006年は1996年以降の過去10年間と比較して、最も報告の多い状態が続いている
病原体情報	冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン / インフルエンザウイルス2005/06シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	中国での鳥インフルエンザ流行状況 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / フランス本土におけるチクングニヤの輸入例、2005年4月～2006年2月 / 航空機旅行における流行性耳下腺炎への曝露、米国2006年4月
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

1類感染症:報告はありませんでした。

2類感染症:腸チフス1名報告がありました。

(なお、第15週に名古屋検疫所から、細菌性赤痢1名報告がありました)

3類感染症:報告はありませんでした。

4類感染症:報告はありませんでした。

5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成18年 第17週 平成18年4月24日(月)~平成18年4月30日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(16週)
インフル エンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	8 0.73		6 1.5		10 3.33	4 0.50	28 0.88	25 0.78	3819 0.87
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	1 0.14					1 0.2	2 0.09	6 0.27	163 0.05
	咽頭結膜熱	10 1.43	1 0.33	7 2.33			10 2	28 1.27	49 2.23	1449 0.48
	A群溶血性レン 球菌咽頭炎	22 3.14	11 3.67	5 1.67		14 7	17 3.4	69 3.14	95 4.32	6517 2.16
	感染性胃腸炎	148 21.14	34 11.33	30 10			67 13.4	279 12.68	244 11.09	19927 6.61
	水痘	16 2.29	1 0.33		2 1	4 2	20 4	43 1.95	39 1.77	5739 1.90
	手足口病						9 1.8	9 0.41	6 0.27	540 0.18
	伝染性紅斑						2 0.4	2 0.09	3 0.14	1446 0.48
	突発性発しん	4 0.57		1 0.33	1 0.5	2 1	3 0.6	11 0.50	20 0.91	2144 0.71
	百日咳									27 0.01
	風しん									7 0.0
眼科 (3)	ヘルパンギー ナ	1 0.14	5 1.67				1 0.2	7 0.32		425 0.14
	麻しん(成人麻し んを除く)									10 0.0
	流行性耳下腺 炎	1 0.14	1 0.33			2 1	3 0.6	7 0.32	11 0.50	3954 1.31
基幹 (6)	急性出血性結膜 炎								1 0.33	15 0.02
	流行性角結膜 炎	1 0.5						1 0.33	3 1	538 0.86
	細菌性髄膜炎									4 0.01
	無菌性髄膜炎									13 0.03
	マイコプラズマ肺 炎								1 0.17	158 0.36
クラミジア肺炎(オム 病は除く)									3 0.01	
成人麻しん									2	

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。